

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 4 区分
 【発行日】 平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】 特開 2002-78195 (P2002-78195A)
 【公開日】 平成 14 年 3 月 15 日 (2002.3.15)
 【出願番号】 特願 2000-259256 (P2000-259256)
 【国際特許分類】

H 0 2 J **1/00** **(2006.01)**
B 4 1 J **29/38** **(2006.01)**
B 4 1 J **29/46** **(2006.01)**
G 0 3 G **21/00** **(2006.01)**

【F I】

H 0 2 J 1/00 3 0 6 J
 B 4 1 J 29/38 Z
 B 4 1 J 29/46 Z
 G 0 3 G 21/00 3 9 8

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 8 月 28 日 (2007.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 発明の名称

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明の名称】 電気機器、画像形成装置および電気機器の使用電力管理方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電力を使用して要求された複数の動作を実行する電気機器において、前記電気機器で使用可能な電力値を外部から受信する受信手段と、
 前記受信手段で受信した電力値で、前記要求された複数の動作を同時に実行できるか判断する判断手段と、
 を備えたことを特徴とする電気機器。

【請求項 2】 請求項 1 記載の電気機器において、前記判断手段により前記要求された複数の動作を同時に実行できないと判断した場合、前記要求された複数の動作のシーケンスの変更を行う制御手段と、を有することを特徴とする電気機器。

【請求項 3】 請求項 1 記載の電気機器において、前記判断手段で前記要求された複数の動作を同時に実行できないと判断した場合に、所要の警報をオペレータに通知する操作部を備えたことを特徴とする電気機器。

【請求項 4】 請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の電気機器が画像形成装置であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】 電力を使用して要求された複数の動作を実行する電気機器における使用電力管理方法であって、
 前記電気機器で使用可能な電力値を外部から受信するステップ A と、
 前記ステップ A で受信した電力値で、前記要求された複数の動作を同時に実行できるか判断するステップ B と、

を備えたことを特徴とする電気機器における使用電力管理方法。

【請求項 6】 請求項 5 記載の電気機器における使用電力管理方法において、

前記ステップ B は、前記複数の動作を同時に実行できないと判断された場合に、前記要求された複数の動作のシーケンスの変更を行うステップ C を有することを特徴とする電気機器における使用電力管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、このような状況のもとでなされたもので、使用可能な電力情報を外部から受け取り、その使用可能な電力内で要求された仕事の実行可能か判断して所要の処置を行い、電源容量オーバや電源ダウンを未然に防止することのできる、電気機器、画像形成装置および電気機器における使用電力管理方法を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため、本発明では、電気機器をつぎの(1)ないし(3)のとおりに構成し、画像形成装置をつぎの(4)のとおりに構成し、電気機器における使用電力管理方法を次の(5)または(6)のとおりに構成する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(1) 電力を使用して要求された複数の動作を実行する電気機器において、前記電気機器で使用可能な電力値を外部から受信する受信手段と、前記受信手段で受信した電力値で、前記要求された複数の動作を同時に実行できるか判断する判断手段とを備えたことを特徴とする電気機器。

(2) 前記(1)記載の電気機器において、前記判断手段により前記要求された複数の動作を同時に実行できないと判断した場合、前記要求された複数の動作のシーケンスの変更を行う制御手段と、を有することを特徴とする電気機器。

(3) 前記(1)記載の電気機器において、前記判断手段で前記要求された複数の動作を同時に実行できないと判断した場合に、所要の警報をオペレータに通知する操作部を備えたことを特徴とする電気機器。

(4) 前記(1)ないし(3)のいずれかに記載の電気機器が画像形成装置であることを特徴とする画像形成装置。

(5) 電力を使用して要求された複数の動作を実行する電気機器における使用電力管理方法であって、前記電気機器で使用可能な電力値を外部から受信するステップ A と、前記ステップ A で受信した電力値で、前記要求された複数の動作を同時に実行できるか判断するステップ B と、を備えたことを特徴とする電気機器における使用電力管理方法。

(6) 前記(5)記載の電気機器における使用電力管理方法において、前記ステップ B は、前記複数の動作を同時に実行できないと判断された場合に、前記要求された複数の動作のシーケンスの変更を行うステップ C を有することを特徴とする電気機器における使用

電力管理方法。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】